intra-mart WebPlatform/AppFramework Ver.7.0

ポータル　設定ガイド

2010/11/30 第 3 版

＜＜　変更履歴　＞＞

変更年月日	変更内容
2008/07/07	初版
2009/10/30	第 2 版 「3.2 PortalCommonConfig.properties」のファイルの格納先を修正しました。
2010/11/30	第 3 版 「3.3.1 rss.xml」rss.xmlの設定項目内の誤植を修正しました。 「3.1 Storageについて」の図のタイトルを修正しました。 「3.2 PortalCommonConfig.properties」のインターネットポートレットの高さ指定に関する説明を修正しました。 「3.2 PortalCommonConfig.properties」に簡易SSO設定のパスワード暗号化に関する記述を追加しました。

<< 目次 >>

1 はじめに 1
2 設定ファイル 2
2.1 設定ファイルの種類 2
2.2 設定ファイルの編集に関する注意点 2
3 機能と設定 3
3.1 Storageについて 3
3.1.1 ポートレットレジストリ 3
3.1.2 デプロイファイルディレクトリ 3
3.1.3 キャッシュファイルディレクトリ 4
3.2 PortalCommonConfig.properties 4
3.2.1 プロパティ一覧 4
3.3 RSSポートレット 7
3.3.1 rss.xml 7
3.3.2 RSS用スタイルシート 7
3.4 汎用新着情報ポートレット 8
3.4.1 汎用新着情報ポートレットの登録 8
3.4.2 重要なお知らせポートレット 9

1 はじめに

本ドキュメントは intra-martWebPlatform/AppFramework（以下 IWP）のポータルモジュールに関する設定および、IWP で提供するポートレットに関する設定を定義する設定ファイルを提示し、その記述内容について説明します。

ここで説明する内容は、システム全体の設定となります。基本的にグループやユーザごとに設定を変更することはできませんので注意してください。

2 設定ファイル

2.1 設定ファイルの種類

ポータルモジュールで利用する設定ファイルを以下に示します。

ファイル名	説明
doc/imart/WEB-INF/classes/PortalCommonConfig.properties	ポータルモジュール全般に関する設定
storage/portal/rss.xml	RSS ポートレットの設定

2.2 設定ファイルの編集に関する注意点

設定ファイルを編集した場合、その変更内容をサーバの動作に反映させるには、該当するサーバの再起動が必要です。

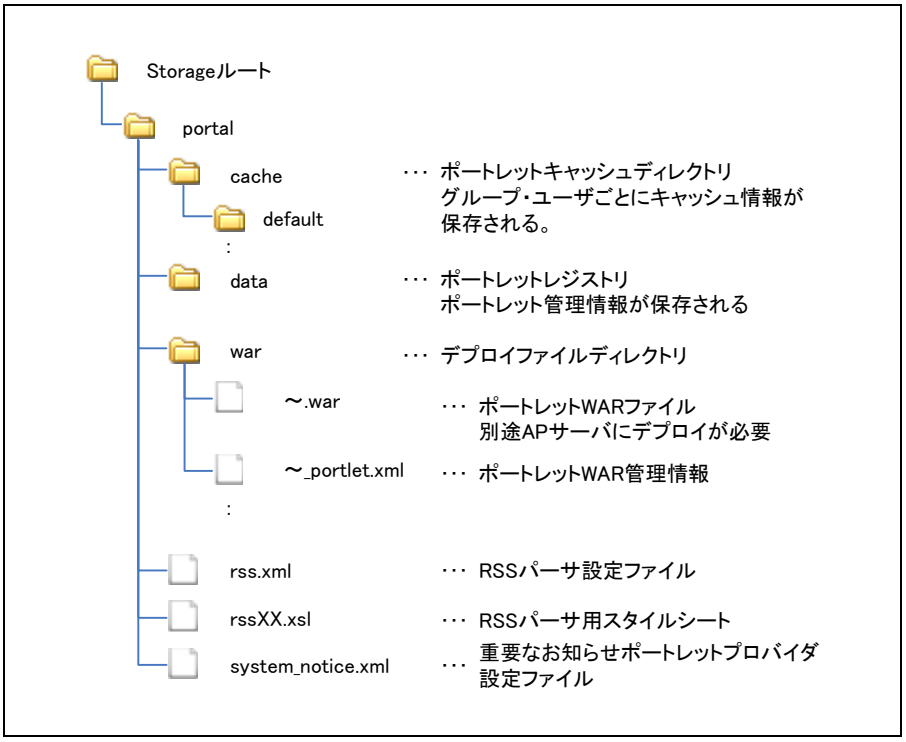
すでにサービスの運用を開始している環境に対して設定ファイルを編集する場合は、メンテナンス時間を設けて全てのサーバを停止した後に作業を行うようにしてください。運用中のサーバに対して設定ファイルを編集することや、ネットワーク連携しているサーバのうち1つまたはすべてではない複数のサーバに関してのみ（他のサーバは運用を継続）設定を変更した場合、予期せぬエラーの原因となることがあります。

Copyright 2000-2010 株式会社 NTT データ イントラマート All rights Reserved.

3 機能と設定

3.1 Storageについて

ポータルモジュールでは、設定情報の一部を Storage Service ディレクトリに格納しています。



＜Storage Service のディレクトリ構造＞

3.1.1 ポートレットレジストリ

```
${STORAGE_ROOT}/portal/data
```

ポートレットコンテナによるポートレットの管理情報が格納されます。
格納されているファイルを修正したり、削除したりしないで下さい。

3.1.2 デプロイファイルディレクトリ

```
${STORAGE_ROOT}/portal/war
```

JSR168 準拠のポートレットをポートレットアプリケーション管理画面で登録した際のアップロードディレクトリです。
アップロード完了後にこのディレクトリに格納された WAR ファイルをアプリケーションサーバにデプロイすることで、ポートレットが利用可能となります。
また、ポートレットを削除する場合、このディレクトリに格納されていることをチェックしますので、ファイルを削除しないで下さい。
詳しくは、「ポータル システム管理者操作ガイド」を参照してください。

3.1.3 キャッシュファイルディレクトリ

```
${STORAGE_ROOT}/portal/cache
```

ポートレット管理画面でキャッシュを利用する設定を行った場合に、ポートレットごとのキャッシュファイルが格納されます。
削除しても、再度最新情報が取得されてキャッシュが作成されるため、動作に影響はありませんが、特に変更しないようにして下さい。

3.2 PortalCommonConfig.properties

ポータルモジュール全体に関わる設定を行います。
Application Runtime に格納されており、設定を変更した場合、Application Runtime の再起動あるいはアプリケーションサーバへの再デプロイが必要です。以下に格納先を記述します。

```
${Application Runtime ルート}/doc/imart/WEB-INF/classes
```

3.2.1 プロパティ一覧

以下に「PortalCommonConfig. properties」に設定されているプロパティ情報の一覧を表示します。
これらの値はほとんどシステムで利用するためのもので、変更する必要はありませんが、いくつかの情報はユーザが変更することも可能です。それらの項目については個別に説明を追記します。

＜一覧表示に関連する設定＞

キー	初期値	説明
NumberOfEachPage	10	ページ毎の表示件数
NumberOfEachPage_PortletSearch	15	ページ毎の表示件数（ポートレット検索画面用）
NumberOfEachPage_Link	8	カテゴリとリンクの毎の表示件数
currentPage	1	ページ番号
orderFlag	asc	ソート

Copyright 2000-2010 株式会社 NTT データ イントラマート All rights Reserved.

＜簡易 SSO に関連する設定＞

キー	初期値	説明
EncodeInterface	jp.co.intra_mart.foundation.portal.common.encode.StringToHexClass	SSO 設定のパスワードの暗号化実装クラス指定
userName	username	SSO 設定のユーザ名のキー（変更しないでください）
password	password	SSO 設定のパスワードのキー（変更しないでください）

■ **EncodeInterface**

簡易 SSO 設定のパスワードを DB に保存する際の暗号化処理クラスです。デフォルトで提供されるクラスでは 16 進文字列への変換を行っています。

このクラスを変更する場合は、以下のインターフェースを実装したクラスを作成し、このプロパティにクラス名を設定する必要があります。

```
jp.co.intra_mart.foundation.portal.common.encode.EnCodeInterface
```

＜インターネットポートレットに関連する設定＞

キー	初期値	説明
portlet.internet.height	400	インターネットポートレットの高さ

■ **portlet.internet.height**

インターネットポートレットのコンテンツの表示高さです。全てのインターネットポートレットで同一の高さとなります。

ただし、ポートレットのサイズは「portlet.maxHeight」で指定されるため、「portlet.maxHeight」より大きい値を指定した場合は、コンテンツが全て表示されずにスクロールバーが表示されます。

＜RSS ポートレットに関連する設定＞

キー	初期値	説明
rss_application_id	portal	RSS ポートレットのアプリケーション id
rss_service_id	rss_view	RSS ポートレットのサービス id
rss_xml	/portal/rss.xml	RSS パーサー設定ファイル

＜メニューリンクセットポートレットに関連する設定＞

キー	初期値	説明
menu_application_id	portal	メニューリンクセットポートレットのアプリケーション id
menu_service_id	menulink_view	メニューリンクセットポートレットのサービス id

＜リンク集ポートレットに関連する設定＞

キー	初期値	説明
displayFavicon	TRUE	リンク集ポートレットで Favicon を表示するかどうかの指定

■ **displayFavicon**

リンク集のリンクの先頭に、リンク先のサイトから「Favicon.ico」を取得して表示するかどうかを指定します。

レスポンスが遅くなる場合もありますので、その場合は「FALSE」を設定してください。

＜Google ガジェットポートレットに関連する設定＞

キー	初期値	説明
GoogleGadgetPortlet.edit_url	/portal/portlets/gadget/google_gadget_edit.jsp	Google ガジェット編集モード用 jsp の url
GoogleGadgetPortlet.List_url	http://www.google.com/ig/directory?synd=open&source=gapi	Google ガジェット一覧の url

■ **GoogleGadgetPortlet.edit_url**

Google のサイト内の Google ガジェット一覧画面の URL です。

もし、Google のサイトの URL が変更された場合は、この値を変更してください。

＜ポートレットコンテナに関連する設定＞

キー	初期値	説明
portal.request.url	dt	Portal 画面の URL（web.xml と同期すること）
portal.registry.context	jp.co.intra_mart.foundation.portal.common.portletcontainer.context.registry.IntramartPortletRegistryContextImpl	PortletRegistryContext の実装クラス 指定しないと OpenPortal を利用
portal.foward.url	/portal/portal/portal_display.jsp	IntramartPortalServlet から転送する URL
portal.error_page.url	/j2ee/document/error/system_error.jsp	IntramartPortalServlet でエラー発生時に転送する URL
portal.contentType	text/html;charset=UTF-8	IntramartPortalServlet の ContentType
source_word	¥¥.	replace source word（変更しないでください）
target_word	¥¥(dot¥¥)	replace target word（変更しないでください）
replace_encoding	UTF-8	replace encoding（変更しないでください）

＜ポートレット管理に関連する設定＞

キー	初期値	説明
pageKind.pagebase	PresentationPagePortlet	ポートレット種別【Presentation Page】
pageKind.jsp	JspPortlet	ポートレット種別【Servlet /JSP】
pageKind.framework	JavaeeFwPortlet	ポートレット種別【im-JavaEE Service Framework】
pageKind.internet	InternetPortlet	ポートレット種別【Internet】
pageKind.menu	MenuLinkSetPortlet	ポートレット種別【メニューリンクセット】
pageKind.rss	RssPortlet	ポートレット種別【RSS】

＜ポータル画面に関連する設定＞

キー	初期値	説明
portlet.maxHeight	500	ポートレットの最大高さ
PortalDisplayLayout.1	widget_1_col	Portal 画面レイアウト【分割なし】
PortalDisplayLayout.2l	widget_2l_col_1,widget_2l_col_2	Portal 画面レイアウト【左右分割1】
PortalDisplayLayout.2r	widget_2r_col_1,widget_2r_col_2	Portal 画面レイアウト【左右分割2】
PortalDisplayLayout.3	widget_3_col_1,widget_3_col_2,widget_3_col_3	Portal 画面レイアウト【三分割】
PortalDisplayLayout.3t	widget_3t_col_1,widget_3t_col_2,widget_3t_col_3	Portal 画面レイアウト【T字分割】

■ **portlet.maxHeight**

ポートレット表示高さの最大値を指定します。ポートレットのコンテンツのサイズがこの値を超える場合、スクロールバーが表示されます。

ただし、インターネットポートレットのコンテンツのサイズはこの値に合わせて拡大・縮小されません。

別途「portlet.internet.height」を指定してください。

Copyright 2000-2010 株式会社 NTT データ イントラマート All rights Reserved.

3.3 RSSポートレット

IWP で提供する RSS 情報を表示するポートレットに関する設定について記述します。

3.3.1 rss.xml

RSS データを表示用に加工するパーサーの設定を行います。ここで設定した値は、ポートレット新規登録・編集画面に表示され、ポートレットごとに選択できます。初期設定では以下の2つのパーサーが登録されています。

初期登録されている「朝日新聞 RSS」では、以下のキーが利用されていますので、修正する場合は注意してください。

＜rss.xml の初期設定＞

キー	表示名	パーサー	スタイルシート
rss10	RSS 1.0	jp.co.intra_mart.foundation.portal.common.rss.RSSParserImpl	portal/rss10.xsl
rss20	RSS 2.0	jp.co.intra_mart.foundation.portal.common.rss.RSSParserImpl	portal/rss20.xsl

＜rss.xml の設定項目＞

項目名	タグ	説明
キー	parser/id	システムで利用するキー。ユニークな ID を設定すること。
表示名	parser/caption	ポートレット新規登録・編集画面に表示される表示名。
パーサー	parser/class	取得した RSS データを処理するためのパーサー。 IWP では指定されたスタイルシートで変換するためのパーサーである、 ・jp.co.intra_mart.foundation.portal.common.rss. RSSParserImpl クラス が提供される。 ユーザがカスタマイズする場合、 ・jp.co.intra_mart.foundation.portal.common.rss. RSSParserIF インターフェース を実装する必要がある。 詳細な情報は、API ドキュメントを参照すること。
スタイルシート	parser/class/xslt	IWP で提供されるパーサー(RSSParserImpl)を利用する場合のスタイルシート。 Storage ルートからの相対パスを指定する。

3.3.2 RSS用スタイルシート

RSS のデータをポートレットに表示するための書式に変換するスタイルシートです。

IWPでは、<3.3.1 rss.xml>で指定する以下のスタイルシートが標準で用意されています。

これらのファイルを直接修正することで、ポートレットに表示されるレイアウトをカスタマイズすることができます。

現在、これらのスタイルシートでは表示件数を 10 件に設定していますが、これを任意の件数に変更することも可能です。

＜IWP 標準スタイルシート＞

スタイルシートファイル	説明
${STORAGE_ROOT}/portal/rss10.xsl	RSS1.0 のフォーマット用スタイルシート
${STORAGE_ROOT}/portal/rss20.xsl	RSS2.0 のフォーマット用スタイルシート

3.4 汎用新着情報ポートレット

IWP では汎用的な新着情報を表示するポートレットが用意されています。 この汎用新着ポートレットでは、新着情報として以下の項目を表示します。

- 新着情報の種類を示すためのカテゴリ
- 新着情報の内容(概要)
- 配信日付
- 新着情報に紐付く遷移先の情報(リンク)

3.4.1 汎用新着情報ポートレットの登録

新しい新着情報を表示するモジュールを作成して利用する場合、以下のようにポートレットとして登録する必要があります。

＜ポートレット新規登録画面＞

項目	設定値	説明
ページ種別	Servlet/JSP	固定
画面パスあるいは URL 種別	/portal/portlets/newly_arrived_view.jsp	新着情報表示用 JSP
ページ引数	page_param=/portal/standard.xml	プロバイダの設定ファイルを「page_param=＜ストレージからの相対パス＞」で設定する。

Copyright 2000-2010 株式会社 NTT データ イントラマート All rights Reserved.

3.4.2 重要なお知らせポートレット

IWP で提供する重要なお知らせポートレットは、汎用新着情報の仕組みを利用しています。
初期設定ではパスワード履歴管理の情報のみ表示していますが、モジュールを拡張することで、表示する情報を追加することが可能です。
以下に表示する情報をカスタマイズする場合の設定について記述します。

重要なお知らせポートレットに表示する内容は、以下のファイルで定義されたプロバイダによって抽出されます。

```
${STORAGE_ROOT}/portal/system_notice.xml
```

このファイルを以下のようにプロバイダを追加することで、重要なお知らせポートレットに表示する内容を変更できます。

```
<new-arrived-portlet>
  <provider>
    <provider-class>
      jp.co.intra_mart.foundation.security.password.PasswordHistoryNewArrivedProvider
    </provider-class>
  </provider>

  <!-- 追加プロバイダ -->
  <provider>
    <provider-class>
      jp.co.intra_mart.foundation.portal.sample.SampleNewArrivedProvider
    </provider-class>
  </provider>

</new-arrived-portlet>
```

初期登録されているプロバイダ「PasswordHistoryNewArrivedProvider」はパスワード管理情報を取得します。
不要である場合は、上記 XML ファイルから削除してください。

intra-mart WebPlatform/AppFramework Ver.7.0
ポータル　設定ガイド

2010/11/30 第3版

Copyright 2000-2010 株式会社NTTデータ イントラマート
All rights Reserved.
TEL: 03-5549-2821
FAX: 03-5549-2816
E-MAIL: info@intra-mart.jp
URL: http://www.intra-mart.jp/